

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	道路事業					
地区名	一般県道岩作諸輪線（米野木バイパス）					
事業箇所	愛知県日進市米野木町地内					
事業のあらまし	<p>一般県道岩作諸輪線は、名古屋市東部のベッドタウンである、日進市・長久手市・東郷町を南北に結び、主要地方道力石名古屋線や主要地方道名古屋豊田線等の名古屋市から放射状に伸びる東西幹線道路と結節し、周辺主要都市に繋がる幹線道路である。また、本区間は、日進米野木駅前特定土地区画整理事業内から主要地方道名古屋豊田線へのアクセス道路として重要な役割を担っている。</p> <p>しかしながら、現道の一般県道岩作諸輪線は交通量が多く、大型車混入率も高く常に渋滞が発生しており、地域の課題となっていた。また、通学路に指定されているため学童歩行者の安全確保も重要な課題であった。</p> <p>このため、建設部方針の内「モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備」「渋滞のないスムーズな移動空間の提供」「地震減災対策の推進」に対して、一般県道岩作諸輪線を整備したものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備</p> <p>(2) 渋滞のないスムーズな移動空間の提供</p> <p>(3) 地震減災対策の推進</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費	内訳				
	17.5 億円	■工事費 4.8 億円、■用補費 11.4 億円、■その他 1.3 億円				
事業期間	採択年度	2005 年度	着工年度	2005 年度	完成年度	2014 年度
事業内容	<p>道路改良事業</p> <p>延長：L=0.6km（うち橋りょう部：L=34.7m）</p> <p>車線数：2車線、幅員：W=15～30m</p>					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>(1) モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業区間を利用する企業へのアンケート調査結果によると、本事業について「満足」・「やや満足」（100%）との回答を得た。また、満足と感ずることについて「走行時間の短縮」、「歩道安全性の向上」（60%）との回答を得た。 <p>(2) 渋滞のないスムーズな移動空間の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備前の通行ルートである現道の岩作諸輪線の交通量から約40%増加したが、所要時間は整備前の水準を維持している。 <li style="padding-left: 20px;">交通量：7,725台/12h（H22 センサス値）→11,053台/12h（2019.9月 交通量調査結果） ・本事業により、日進市・東郷町境から岩藤交差点間の所要時間は横ばい。 <li style="padding-left: 20px;">所要時間：約8分（整備前）→約9分（整備後） <p>(3) 地震減災対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、第1次緊急輸送道路として位置づけられている国道153号および東名高速道路へのアクセス性が高まり、災害時の避難・防災機能が高まった。 <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>本事業により、モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤や渋滞のないスムーズな移動空間、地震減災対策の強化が図られ、事業目標は達成している。</p>				

2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 —</p> <p>【達成状況に対する評価】 —</p>																						
②事業効果の発現状況	<p>【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】</p>																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>事業採択時 (2005年)</th> <th>実績 (2019年)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>2005～2010</td> <td>2005～2014</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			事業採択時 (2005年)	実績 (2019年)	備考	事業期間		2005～2010	2005～2014													
			事業採択時 (2005年)	実績 (2019年)	備考																		
	事業期間		2005～2010	2005～2014																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">事業費 (億円)</th> <th colspan="2">工事費</th> <td>—</td> <td>4.8億円</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th colspan="2">用地補償費</th> <td>—</td> <td>11.4億円</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">その他</th> <td>—</td> <td>1.3億円</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">合計</th> <td>20億円</td> <td>17.5億円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業費 (億円)	工事費		—	4.8億円		用地補償費		—	11.4億円		その他		—	1.3億円		合計		20億円	17.5億円		
	事業費 (億円)		工事費		—	4.8億円																	
			用地補償費		—	11.4億円																	
			その他		—	1.3億円																	
		合計		20億円	17.5億円																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">効果の 算定要因</th> <th rowspan="2">交通量 (台/日)</th> <th>岩作諸輪線</th> <td>7,735台/12h</td> <td>11,053台/12h</td> <td rowspan="3">事業採択時：H17センサス 実績交通量：交通現況調査 (2019年9月)</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩藤南交差点～ 日進市・本郷町境</td> <th>走行距離</th> <td>3.4km</td> <td>3.4km</td> </tr> <tr> <td></td> <th>混雑時 所要時間</th> <td>約8分</td> <td>約9分</td> </tr> </tbody> </table>	効果の 算定要因	交通量 (台/日)	岩作諸輪線	7,735台/12h	11,053台/12h	事業採択時：H17センサス 実績交通量：交通現況調査 (2019年9月)	岩藤南交差点～ 日進市・本郷町境	走行距離	3.4km	3.4km		混雑時 所要時間	約8分	約9分								
効果の 算定要因	交通量 (台/日)			岩作諸輪線	7,735台/12h	11,053台/12h		事業採択時：H17センサス 実績交通量：交通現況調査 (2019年9月)															
			岩藤南交差点～ 日進市・本郷町境	走行距離	3.4km	3.4km																	
		混雑時 所要時間	約8分	約9分																			
<p>【事業期間に対する評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間の当初計画は2005年から2010年としていたが、用地交渉により事業期間を延期したため、2014年度の完了となった。 <p>【事業費に対する評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業採択時と比較し、コストダウンを図ったことにより、事業費減となった。 <p>【効果の算定要因に対する評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、利便性向上により交通量は増えたが、所要時間は整備前の水準を維持していることから、本事業は一定の効果があったと判断する。 																							
③事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、都市計画道路名古屋豊田線へのクランク接続が解消したことで、利便性が向上し、周辺幹線道路へのアクセス性が高まった。 ・周辺の国道153号等の第1次緊急輸送道路へのアクセス性が向上したため、災害時の避難・防災機能が高まった。 																						
III 対応方針（案）																							
今後の事後評価の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標に対して目的を達成しており、今後の事後評価の必要性はない。 																						
改善措置の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標に対する効果が十分に発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はない。 																						
同種事業に反映すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業では用地交渉により事業期間を延期したため、事前に事業調整に努め、計画期間通りに事業を完了させる必要がある。 																						
IV 事業評価監視委員会の意見																							
一般県道岩作諸輪線（米野木バイパス）の対応方針（案） [改善措置等必要なし]を了承する。																							
V 対応方針																							
改善措置等必要なし																							